

20 奈第 1653 号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

高知県安芸郡奈半利町長
齊 藤 一 孝



今後の道路行政についての意見・提案について

標記について、別紙のとおり提出致します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・道路特定財源は一般財源化されたとしても、道路建設・維持のために使って頂きたい。
- ・真に必要な道路建設を計画的に建設することについて、優先順位を明確にし国民の理解を得た上で実施して頂きたい。
- ・優先順位をつける上で、経済効果だけではなく、地震対策等、自然災害に強い道路づくりを考慮した優先順位をつけることをお願いしたい。

②-1 地域の現状と抱える課題

四国東南部を走る国道55号は、海岸と平行し海岸線に近い部分に建設された、この地区唯一の幹線道路であり、住民生活の基幹となっている道路であります。

しかしながら、台風等異常気象時には、国道55号車道部まで直径50cmを越す海岸の石や越波海水が打ち上げられるなど、地域住民が安心して通行できなくなります。

また今後、30年以内の発生確率が50パーセント程度と予想されている南海大地震が発生すれば、太平洋岸を走る唯一の幹線道路である、一般国道55号には津浪が押し寄せるとともに土砂崩れが発生し、長期に渡り交通遮断状態が続き、住民の生命を守るための救急処置や緊急物資の輸送に大きな支障が生じることが想定されます。

都市、地方それぞれの道路における問題は違いますが、日本の国土の均衡ある発展を遂げるためにも、道路財源として暫定税率を維持し、地域が安全で安心して暮らせる計画的な道路建設を堅持するため、地方道路整備臨時交付金の存続と併せ、安全・安心の道路建設を目指すべきであると考えます。

②-2 地域の目指す将来像

第1次産業中心の町であり、農業では温暖な気候を活かしたナス、ミョウガ、ピーマン、スイカなどの施設園芸、水産業では、鰹、イカ、金目鯛を主力に、京阪神に向け生鮮野菜、鮮魚、水産加工品の供給を行う。

林業では高知県土の約84%が森林であり、川上の材を集約し、奈半利港を中心とする木質バイオマス等の森林資源を活用したエネルギー供給基地としての役割を果たす。

また、商工観光振興面では、港オアシス、サンゴ遊覧船で行くサンゴウォッチング、観光釣イカダ等の海を中心とする観光振興により、都市と地方の連携を図る。また雇用促進として、企業誘致等により雇用の場を確保する。

③道路施策の重点事項

○重点事項	○代表事例	○期待する効果	○その他
・地域活力の向上	平成18年には、金属加工業者の山崎機械、富士鍛工、熱処理会社のダイネツ工場の企業誘致を行い、現時点では新工場、事務所の建設が行われており、事業拡大の兆しがあります。 製品、原料の輸送距離、時間短縮による経費の節減。 四国内ネットワークの確立。(高速道路、地域高規格道路)	地元雇用場として確立しており、平成20年には地元から25人の雇用が生まれました。	
・総合的安全対策及び危機管理の強化	台風等異常気象時には、国道55号車道部まで直径50cmを越す海岸の石や越波海水が打ち上げられるなど、地域住民が安心して通行できなくなります。 また、降雨時には、山崩れ、谷への出水により道路に土砂が流れ込む。 落石による死亡事故。 (地域高規格道路の早期完成、国道55号の整備)	海岸集落、山間部集落における生活道路の安全確保。 安全、安心の道路づくりによる緊急車両等の通行を可能とする。 地域住民の生命を守る。 四国遍路の安全確保。	